

令和7年度 宇都宮市立河内中学校 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

生徒の知・徳・体の調和のとれた成長を期し、豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きようとする生徒を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

① 実力を養う

たくましい体力と何事にもくじけぬ強い精神力(耐性)を養い、自ら学習しようとする意志力をもつ生徒を育てる。

② 友愛を深める

礼を重んじ、友情を育て、深め、思いやりのある生徒を育てる。

③ 品性を高める

人格向上を目指して自己を磨き、豊かな心をもつ生徒を育てる。

2 学校経営の理念

(1) 「魅力ある学校」(感動ある学校、学び合う学校)

① 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践

② 感動的な学校行事の推進

③ 言語活動と読書活動の推進

④ 人権意識の涵養と規範意識の醸成

⑤ 保護者との連携強化

(2) 「地域とともにある学校」(カリキュラムマネジメント)

① 地域教育力の活用

② 地域行事への生徒の参加・協力の推進

③ 「宇都宮の良さ」「河内地区の良さ」を発信し、考えさせる指導の充実

④ 地域ボランティア活動への参加

⑤ 学校の教育活動の地域への情報発信

(3) 「やりがいのある学校」

① 協働する教職員組織の構築

② 教職員の授業力の向上と生徒の学力の向上

③ 教職員の服務規律の確保

④ 教職員の業務（働き方）の改善

3 学校経営の方針

[河内地域学校園教育ビジョン]

『すこやか河内 ～小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します～』

(1) 確かな学力の育成

- ① 教職員の資質・能力の向上
(校内外研修・一人1授業公開・地域学校園全体研修による授業力の向上)
- ② 「考える力を育む言語活動の充実」(学校課題)
- ③ 情報活用能力を育成する教育の充実(GIGAスクール構想の実現)
- ④ 家庭学習の充実(タブレット端末の利用・AI型個別学習ドリルの有効活用)

(2) 豊かな心の育成

- ① 「特別の教科 道徳」(考える道徳・議論する道徳)の充実
- ② 読書に親しむ態度の育成
- ③ あいさつ, 返事, 言葉遣いの指導
- ④ 「いじめ防止基本方針(改訂版)」の着実な運用
- ⑤ 感動体験を重視した学校行事の充実(運動会・合唱コンクール・校内マラソン大会等)

(3) 健康・体力の向上

- ① 健康的な生活を送るための指導の充実
- ② 新体力テストの結果を活用した教科体育の充実
- ③ 縦割りによる運動会の実施
- ④ 安全に配慮した校内マラソン大会の実施
- ⑤ 自他の安全を守る能力の育成(避難訓練・安全集会・感染症防止等)

(4) グローバル社会への対応と郷土愛の醸成

- ① 英語によるやりとりを中心とした授業の推進
- ② ALTの活用
- ③ 多様な文化に触れる学習の実施
- ④ 郷土への愛情を育む学習の推進(「宇都宮学」・「道徳科地域教材」の実施)

(5) 情報社会と科学技術への対応

- ① デジタル・シティズンシップを育む指導の推進
- ② プログラミング教育の推進
- ③ 一人1台端末の効果的な活用
- ④ 図書を活用した学習及び「NIE」の推進

(6) インクルーシブ教育及び個に応じた指導の充実

- ① 障がいに対する理解・研修及び合理的配慮への取組
- ② いじめや不登校の未然防止, 早期対応, 組織的な対応
(Q-Uの活用・SCとの連携・校内教育支援センター支援員との連携・関係機関との連携・家庭との連携)
- ③ かがやきルームの効果的活用
- ④ 別室登校支援の充実

(7) 学校における教職員の働き方改革の推進

- ① 多様な専門スタッフと連携したチーム力の向上
- ② 月1回以上のリフレッシュデーの設定

- ③ 学校業務の効率化と勤務時間の管理
- ④ 部活動指導体制の見直し
- ⑤ 学校行事の見直しと実施に向けた練習・準備等のスリム化
- (8) 地域とともにある学校づくりの推進（カリキュラムマネジメント）
 - ① コミュニティ・スクールの運営
 - ・ 学校運営基本方針の承認
 - ・ 教育活動に対する意見（助言）の反映
 - ・ 地区体育祭，文化祭等への参加協力
 - ・ 書写指導，図書館，花壇整備等における地域ボランティアの活用
 - ・ 「地域未来塾」（放課後学習支援活動）への参加呼びかけ
 - ② 宮・未来キャリア教育の推進及び地域人材の活用
(ふれあい文化教室・福祉教育・キャリア教育・健康教育)
 - ③ 「学校マネジメントシステム」の中間期評価の実施と活用
 - ④ 学校だより・学年だよりやホームページ等を通しての積極的な情報発信

4 教育課程編成の方針

- (1) 関連する法令，栃木県教育振興基本計画，宇都宮市学校教育推進計画に従い，本校教育目標が達成できるように全職員の理解と協力により編成する。
- (2) 地域や生徒の実態，学校の施設設備，職員組織を考慮し，必修教科，特別の教科道德，総合的な学習の時間及び特別活動（学級活動，生徒会活動，学校行事）の調和を図って編成する。
- (3) 基礎的・基本的な内容の指導の徹底，個性を生かす教育の充実，自ら学ぶ意欲と社会の変化に対応できる能力の育成を図り，生涯教育の基礎を培うことを目標に編成する。
- (4) あらゆる教育活動の場面で，「学び合い・喜び合い・励まし合う」活動内容や場を設定し，生徒同士や教職員および地域の人々との交流を深めながら，3あい運動の深化・拡充を目指し編成する。
- (5) 学校の教育活動全体を通じて，体力の向上や健康の増進を図るため体育的活動を積極的に行い，健康で安全な生活を送るための基盤となるよう編成する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ① 「魅力ある学校」づくり
 - ② 感動的な学校行事の推進
 - ③ 計画的な小中一貫教育の推進
 - ④ 教職員の働き方の改善
- (2) 学習指導
 - ① 学力調査等を活用した共通実践
 - ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - ③ 学校園授業コンセプトの充実

○④ 言語力の基礎の徹底

(3) 生徒指導

① 「特別の教科 道徳」の充実

② 体験活動・読書活動の充実

○③ 自ら考え、正しく判断し、主体的に行動できる生徒の育成

～規範意識の醸成及び正しい言動での自己表現～

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

① 『健康増進・体力向上の基本的な知識を身に付け、自分の身体の状態を理解し、体力向上に励む生徒の育成』

○② 運動に親しむための体力づくり

○③ 望ましい食習慣の形成

④ 生徒の健康・安全を第一に考えた、学校生活や学校行事等の計画・運営（感染症対策等）

6 学習指導に関する取組

※ 様式2

7 児童生徒指導に関する取組

※ 様式3

8 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式4

9 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

① 言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成

② 自己の気力・体力・競技力を生かし、その成果に向けて互いに励まし合おうとする態度の育成

③ 生徒自ら主体的に生活環境に働きかけようとする態度の育成

④ 現代社会における地球規模の課題を自らに関わる問題として捉え、解決に向けて考え、行動する力の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

① 言語活動の充実、読書活動の充実

- ・ 主体的・対話的で深い学びのある授業実践（各教科）
- ・ 朝の読書の時間の充実（図書委員会・国語科）
- ・ ビブリオバトル・ブックトーク等の実施（図書委員会・国語科）

② 感動的な学校行事の推進

- ・ 縦割りで行う運動会や校内マラソン大会（体育委員会・実行委員会・保健体育科）
- ・ 生徒主体で行う文化祭や合唱コンクール（生徒会・実行委員会・音楽科他）

◇③ 環境教育の推進

- ・ 花いっぱい運動、草花の手入れや栽培等、校舎内外の教育環境の整備（環境委員会）

④ SDGs の推進

- ・ エコ活動，地域環境保全に係る活動の推進（環境委員会・総合的な学習の時間）
- ・ 持続可能な開発を推進するために必要な知識及び技能の習得
（各教科・総合的な学習の時間・国際理解教育）

10 本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（コミュニティ・スクールによる実践）

①基本的考え

- I 地域の教育力を生かした学校教育の充実
- II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保
- III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上

②主な取組

I 地域の教育力を生かした学校教育の充実（カリキュラムマネジメント）

ア 学習支援活動

- ・ 総合的な学習の時間における福祉体験
- ・ 「地域未来塾」の広報活動と活動内容の検討・充実
- ・ 国語科書写の毛筆指導
- ・ 技術・家庭科における食育(地産地消の意義等)

イ 校内環境整備

- ・ PTAクリーン活動
- ・ 図書室蔵書整理
- ・ 委員会活動と連携した花の手入れや栽培（昇降口前・中庭での花の栽培 等）

ウ 部活動指導員及び部活動外部指導者の活用

II 地域ぐるみの児童生徒の健全育成・安全確保

ア 地域巡回指導（原則月２回）

イ あいさつ運動（「かわちあいさつの日」毎月１日）の実施

III 学校行事等を活用した家庭・地域の教育力向上

ア 家庭教育活動 PTA講演会等

イ 地域教育活動 学校園交流活動

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

『すこやかに学ぶ子ども像』を設定し，小中学校の連携を図りながら児童・生徒への教育の充実を目指す。

『すこやかに学ぶ子ども像』

- ・ 学び方を身に付けている子ども
- ・ 家庭学習の習慣を身に付けている子ども
- ・ 言葉の正しいつかい方を身に付けている子ども

②主な取組

- ・ 小学校乗り入れ授業を通し，授業力の向上に努め，中１ギャップの解消を図る。

- ・ 運営会議，全体研修会，専門部会，教科部会 ⇒ 年間4回（リモート等の開催含む）
- ・ 小中合同あいさつ運動 ⇒ 年間4回
- ・ 地域学校園授業コンセプトの定着・充実
- ・ 生徒会による小6生中学校訪問時での学校紹介等の実施
- ・ すこやか河内学校園「生活のきまり」の共通指導

【河内地域学校園授業コンセプト】

『対話的な学びを通して，考えを広げ深める授業の展開

一言語力の基礎の徹底と学習形態の工夫』

（3）いじめ・不登校対策

①基本的考え

チームによる相談体制の強化及び学校・地域・関係機関の連携を強化し，いじめを受けている生徒，不登校生徒への対応の充実を図る。

②主な取組

- ・ 教育相談（年3回）の実施
- ・ 家庭との連携強化
- ・ 宮っ子ダイアリーの有効活用
- ・ SCや校内教育支援センター支援員の活用，SSWによる支援
- ・ 教育相談部会，校内支援委員会，事例検討会の適時開催と有効活用

（4）GIGAスクール構想

①基本的考え

GIGAスクール構想の実現を目指し，一人1台端末を授業はもとより日常的に有効活用できるように，取組を推進する。

②主な取組

- ・ 学びの保障を意識した，家庭におけるタブレット端末の利用
- ・ ICT支援員の有効活用と校内研修の充実
- ・ SNSを介した犯罪やスマートフォン依存防止に向けた，専門家による出前講座の実施
- ・ 個に応じた学習の充実を図るための「AI型個別学習ドリル」の有効活用

（5）宇都宮学

①基本的考え

地域の教育資源や資料等を有効に活用しながら，郷土の歴史，文化，伝統，産業等について理解を深めるとともに，生徒が郷土への愛情と誇りをもてるよう，指導の充実を図る。

②主な取組

- ・ 総合的な学習の時間における各学年での「宇都宮学」の確実な実施
- ・ 「道徳科地域教材」を通しての地域理解と郷土への愛情を深める授業の工夫
- ・ 総合的な学習の時間等における，河内地区ガイドブック「かわち」の有効活用
- ・ 地域協議会や地域学校協働活動推進員，地域ボランティア等をゲストティーチャーとして実施する授業等の実践（「地域の人に学ぶ」）